

平成 31 年 4 月 24 日
気 象 庁 予 報 部

配 信 資 料 に 関 す る お 知 ら せ

～台風の呼名・存在地域名の表の管理方法の変更及び
兵庫県篠山市が丹波篠山市となるに伴う存在地域名の変更について～
(配信資料に関する技術情報第 493 号関連)

台風解析・予報情報 XML 電文で用いられる「台風の呼名」及び「台風の存在地域名」の表については、平成 30 年 6 月 7 日の配信資料に関する技術情報第 493 号「台風 5 日予報の改善」の別表 1 及び 2、並びに「気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」(<http://xml.kishou.go.jp/>) において提供されている「台風解析・予報情報（延長予報）電文（新形式）」の解説資料別表 1 及び 2 において、同一のものを管理していました。

このたび、管理を解説資料に一本化するため、技術情報第 493 号から別表 1 及び 2 を削除し、解説資料を参照するように記載を変更しましたので、この変更を反映した技術情報第 493 号を改めて提供します。

なお、兵庫県において、平成 31 年 5 月 1 日から篠山市が丹波篠山市となることに伴い、「台風解析・予報情報（延長予報）電文（新形式）」の解説資料別表 2 「台風の存在地域名」の兵庫県の欄の篠山市を丹波篠山市に変更します。この変更は平成 31 年 5 月 8 日（水）13 時（日本時間）から有効です。

(平成 31 年 4 月 24 日一部修正)

(平成 31 年 1 月 17 日一部修正)

(平成 30 年 10 月 23 日一部修正)

(平成 30 年 9 月 18 日一部修正)

(平成 30 年 8 月 28 日一部修正)

平成 30 年 6 月 7 日

気 象 庁 予 報 部

配信資料に関する技術情報 第 493 号

～台風 5 日予報の改善～

気象庁では、平成 30 年度末までに、5 日先までの台風の強度予報を開始します。これにより、台風予報は進路・強度ともに 5 日先までの提供となります。

なお、XML 電文の詳細については「気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」(<http://xml.kishou.go.jp/>) において関連資料を提供しますので、それらをご参照下さい。

1. 改善の概要

以下の 3 つの改善を、平成 30 年度末までに実施します。具体的な実施日時、試験配信の日程などは改めてお知らせします。

- ① 3 日 (72 時間) 先まで提供している台風の強度予報を 5 日 (120 時間) 先まで延長し、進路予報と合わせて新しい電文にて提供します。新しい電文の発表時刻及び発表頻度は、現行の 3 日先までの進路・強度予報と同じです。
- ② 3 日 (72 時間) 先まで提供している台風の暴風域に入る確率を 5 日 (120 時間) 先まで延長し、新しい電文・ファイルにて提供します。また、従来 of 3 日先までの資料を含め、配色を「気象庁ホームページにおける気象情報の配色に関する設定指針 (平成 24 年 5 月)」に準じたものに変更します。
- ③ 5 日間台風予報図に強度予報の要素を記載します。

2. 新設または変更するプロダクトの詳細

(1) 台風解析・予報情報 (5 日進路・強度予報) 電文 (VPTWii [ii=60~65]) の新設

(ア) データ種類コード

VPTWii [ii=60~65]

(イ) 電文に含まれる内容

- 5 日先までの強度予報 (詳細は (ウ) に記載)
- 現行の台風解析・予報情報 (5 日進路予報) 電文 (VPTWii [ii=50~55]) で報じている 5 日先までの進路予報

- 現行の台風解析・予報情報電文（VPTWii [ii=40～45]）で報じている次の情報
 - 24 時間以内に台風になると予想される熱帯低気圧の実況と 24 時間先の位置・強度の予報
 - 日本列島に大きな影響を及ぼす台風が接近しているときに発表する毎時の実況と 1 時間先の推定位置・強度の情報
 - 台風が温帯低気圧化または熱帯低気圧化した際の実況の情報

（ウ）強度予報

これまで VPTWii [ii=40～45] で報じていた 3 日（72 時間）先までの台風強度予報に加え、03 時（日本標準時、以下同じ）、09 時、15 時、21 時の観測に基づく 4 日（96 時間）先及び 5 日（120 時間）先の台風強度予報を提供します。

4 日先、5 日先の強度予報の要素は、現行の 3 日先までの強度予報と同じで、熱帯擾乱種類、強さ階級、中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒域です。XML 電文における強度予報要素は、現行の 3 日先までの進路・強度予報電文（VPTWii [ii=40～45]）で報じている 3 日先までの強度予報要素と同じ場所に記載します。別紙 1 に強度予報要素の記載例を示します。

なお、00 時、06 時、12 時、18 時の観測に基づく 5 日先までの強度予報のうち、2 日（48 時間）先以降の予報は、3 時間前の観測に基づく 48、72、96、120 時間予報を 45、69、93、117 時間予報として提供します（進路予報についても同様です）。

（エ）発表時刻

5 日先までの進路・強度予報の新電文の発表時刻は、現行の 3 日先までの進路・強度予報の電文（VPTWii [ii=40～45]）と同じで、台風が 1 個の場合、00 時、03 時、06 時、09 時、12 時、15 時、18 時、21 時の観測時刻の約 50 分後に発表し、台風が複数の場合は、1 個目を同観測時刻の約 50 分後、2 個目以降を同観測時刻の約 70 分後に発表します。

（オ）XML 電文の運用に関する特記事項

新規 XML 電文の Control/Title は「台風解析・予報情報（5 日予報）（H30）」とします。

また、/Body/MeteorologicalInfos/MeteorologicalInfo/DateTime の type 属性値について、現行の 5 日先までの進路予報電文では 4 日先以降を「延長予報 X 時間後」として取り扱っていますが、新電文では「予報 X 時間後」としての取り扱いとします。

（カ）補足

現行の 3 日先までの進路・強度予報電文と 5 日先までの進路予報電文、及び新電文の内容を別紙 2 にまとめましたので、参考にしてください。

（2）台風解析・予報情報（5 日進路予報）電文（VPTWii [ii=50～55]）の発表時

刻の変更

現在、観測時刻の約 90 分後に発表している台風解析・予報情報（5 日進路予報）電文（VPTWii [ii=50~55]）について、前項の新電文と同じ発表時刻に発表します。すなわち、台風が 1 個の場合、03 時、09 時、15 時、21 時の観測時刻の約 50 分後に発表し、台風が複数の場合は、1 個目を同観測時刻の約 50 分後、2 個目以降を同観測時刻の約 70 分後に発表します。

（3） 台風の暴風域に入る確率（5 日）の新規・追加提供

現在、3 日（72 時間）先まで提供している台風の暴風域に入る確率について、03 時、09 時、15 時、21 時の台風解析・予報情報（5 日進路・強度予報）電文の内容に基づいて、新たなデータ種類コード又はファイル名により、A/N 電文、GRIB2 格子点値及び PNG 画像の形式で 5 日（120 時間）先まで提供します。

複数の台風が同時に存在する場合には、日本に影響を及ぼす台風を優先して 2 個まで提供しますが、日本に影響を及ぼすおそれのある台風が同時に 3 個以上ある場合には最大 3 個まで提供します。台風の選択は、中心が日本からおおむね 300km 以内にある台風をまず優先し、その他の台風については、日本への影響がより大きいと予想されるものから順次選択します。

① 台風の暴風域に入る確率（5 日）電文の新設

（ア）データ種類コード

FXJPii [ii=61~72]

（イ）電文に含まれる内容

市町村等をまとめた地域等ごとに、台風の暴風域に入る確率が 0.5%以上の地域について、現在、暴風域に入る確率電文（FXJPii [ii=51~56]）で提供している 72 時間先までのものに加える形で、120 時間先までの 3 時間ごとの確率値、及び観測時刻から 24、48、72、96、120 時間先までの積算確率値を提供します。

市町村等をまとめた地域等は、気象庁ホームページで公開している気象庁防災情報 XML の個別コード表¹の 6 桁のコードを使用します。また、各地域に含まれる市町村は気象庁ホームページ²に掲載しています。

（ウ）電文形式

電文形式の詳細を別紙 3 に示します。

（エ）発表時刻

台風が 1 個の場合、03 時、09 時、15 時、21 時の観測時刻の約 60 分後に発表し、台風が複数の場合は、1 個目を同観測時刻の約 60 分後、2 個目以降を同観測時刻の約 80 分後に発表します。

¹ AreaInformationCity-AreaForecastLocalM.xls 内の AreaForecastLocalM(コード表) シート

² https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/yougo_hp/shichoson_ichiran.html

② 72 時間先以降の台風の暴風域に入る確率（5 日）格子点値の新規提供

(ア) ファイル名

- ・観測時刻から 120 時間先までの 3 時間ごとの確率（約 190kB）

Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_GPV_Rjp_Jwsp50_FD0000-0500_NTttttnn_grib2. bin

- ・観測時刻から 24、48、72、96、120 時間先までの積算確率（約 25kB）

Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_GPV_Rjp_Jwsp50_FD0000-0500_JRintgrt_NTttttnn_grib2. bin

※ Z と C の間にはアンダースコアが 2 個、その他のアンダースコアは 1 個。
yyyyMMddhhmmss はデータの観測時刻の年月日時分秒を UTC（協定世界時）で設定。
ttttnn は始めの 4 桁（tttt）が西暦年の下 2 桁と台風番号 2 桁で表される 4 桁の数字で、
終わりの 2 桁（nn）がその台風に関して提供する格子点値の 2 桁の通番となります。
例：2017 年台風第 18 号の暴風域に入る確率の分布（格子点値）第 25 号→ 171825

(イ) 格子点値に含まれる内容等

現在提供している観測時刻から 72 時間先までの 3 時間ごとの確率分布格子点値とは別に、観測時刻から 120 時間先までの 3 時間ごとの確率分布格子点値を新たに提供します。また、積算確率分布格子点値も、現在提供している観測時刻から 24、48、72 時間先までのものとは別に、観測時刻から 24、48、72、96、120 時間先までの 5 個を新たに提供します。

確率値計算の対象領域と格子間隔は次のとおりです。

- 対象領域：北緯 20 度、北緯 50 度、東経 120 度、東経 150 度で囲まれる領域
- 格子間隔：緯度 24 分（0.4 度）、経度 30 分（0.5 度）間隔（76×61）

(ウ) ファイル形式

ファイル形式は、国際気象通報式 FM92 GRIB 二進形式格子点資料気象通報式（第 2 版）（GRIB2）とし、フォーマット及びテンプレート等の詳細を別紙 4-1 及び別紙 4-2 に示します。なお、現在提供している 72 時間先までのファイルと同じフォーマットですが、第 4 節から第 7 節の繰り返しを 72 時間先までから 120 時間先までに拡張したものとなります。

(エ) 発表時刻

台風が 1 個の場合、03 時、09 時、15 時、21 時の観測時刻の約 70 分後に発表し、台風が複数の場合は、1 個目を同観測時刻の約 70 分後、2 個目以降を同観測時刻の約 90 分後に発表します。

③ 72 時間先以降の台風の暴風域に入る確率（5 日）画像の追加提供

(ア) ファイル名

- ・3 時間ごとの確率分布図の画像

Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0300-0303_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0303-0306_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0306-0309_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0309-0312_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0312-0315_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0315-0318_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0318-0321_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0321-0400_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0400-0403_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0403-0406_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0406-0409_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0409-0412_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0412-0415_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0415-0418_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0418-0421_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0421-0500_NTttttnn_image.png

・ 確率積算分布図の画像

Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0000-0400_NTttttnn_image.png
Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_Jwsp50_FD0000-0500_NTttttnn_image.png

※いずれも、現在提供している 72 時間先までのファイルと同様の命名規則で、120 時間先までのものを提供します。

※ Z と C の間にはアンダースコアが 2 個、その他のアンダースコアは 1 個。

yyyyMMddhhmmss はデータの観測時刻の年月日時分秒を UTC（協定世界時）で設定します。
ttttnn は始めの 4 桁（tttt）が西暦年の下 2 桁と台風番号 2 桁で表される 4 桁の数字で、
終わりの 2 桁（nn）がその台風に関して提供する画像の 2 桁の通番となります。

例：2017 年台風第 12 号の暴風域に入る確率の分布（画像）第 13 号→ 171213

（イ）画像に含まれる内容等

現在提供している、観測時刻から 72 時間先までの 3 時間ごとの確率分布図 24 枚に加え、72 時間先以降 120 時間先までの 3 時間ごとの画像 16 枚を追加します。また、積算確率分布図も、現在提供している観測時刻から 24、48、72 時間先までの 3 枚に加え、96、120 時間先までの 2 枚を追加して提供します。

（ウ）画像形式

図法、対象領域、画像分解能は次のとおりです。

- 図法：ポーラーステレオ図法
- 領域：北緯 20 度、北緯 50 度、東経 120 度、東経 150 度で囲まれる領域が含まれる領域。ただし、確率分布を描画するのは上記緯度・経度で囲ま

れた領域のみ。

- 画像分解能：縦 842 ピクセル、横 595 ピクセルで、分解能は縦横ともに 96dpi

なお、現在提供している 72 時間先までのものを含めた 120 時間先までのすべての画像の配色を「気象庁ホームページにおける気象情報の配色に関する設定指針（平成 24 年 5 月）」³に準じた配色に変更します。変更前後の例を別紙 5 に示します。

（エ）発表時刻

台風が 1 個の場合、03 時、09 時、15 時、21 時の観測時刻の約 90 分後に発表し、台風が複数の場合は、1 個目を同観測時刻の約 90 分後、2 個目以降を同観測時刻の約 110 分後に発表します。

（4）5 日間台風予報図（WTAS12）の変更

現在は 5 日先までの進路予報のみ記載した図を PNG 形式で提供していますが、これに 12 時間先の位置と 5 日先までの強度・暴風警戒域を追記した図を提供します。これにより、現在 3 日先までの情報を記載した台風予報図（WTAS07）で提供している内容は全て WTAS12 に含まれることとなります。また、図中の左上囲みの説明文等も併せて変更します。これら変更後の例を別紙 6 に示します。ファイル名は変更ありません。

変更後の WTAS12 は、現行の WTAS07 と同じく、03 時、09 時、15 時、21 時の観測時刻の約 95 分後に発表します。

（5）台風に関する情報（定時）（WTJPii [ii=21~26]）

現行の 3 日先までの進路・強度予報を 5 日先まで延長して提供します。変更後の例を別紙 7 に示します。データ種類コード（WTJPii [ii=21~26]）は変更しません。

新しい電文の発表時刻及び発表頻度は、現行の 3 日先までの進路・強度予報と同じで、台風が 1 個の場合、03 時、09 時、15 時、21 時の観測時刻の約 50 分後に発表し、台風が複数の場合は、1 個目を同観測時刻の約 50 分後、2 個目以降を同観測時刻の約 70 分後に発表します。

なお、台風に関する情報（臨時）（WTJPii [ii=31~36]）は現行と変わらず、1 日先までの進路・強度予報を提供します。

（6）全般海上警報（VPZU52、VPZU53）の変更

技術情報第 477 号でお知らせしましたとおり、全般海上警報の改善（平成 30 年 6 月 19 日実施予定）に伴い新設する XML 電文（VPZU52、VPZU53）についても、台風 5 日強度予報の開始後は、5 日先までの予報を記述して発表する予定です。

3. 提供開始時期

³ https://www.jma.go.jp/jma/press/1205/24a/120524_hpcolorguide.pdf

平成 30 年度末までに提供を開始する予定です。具体的な日時や、試験配信の日程については、決まり次第お知らせします。

4. サンプルデータ

XML 形式電文は、「気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」(<http://xml.kishou.go.jp/>)において、サンプルデータを提供します。

その他の電文は、(一財)気象業務支援センターにサンプルデータを追って提供しますので、必要な方はお問い合わせください。

5. 電文等のプロダクトの運用計画

今回の改善に伴う電文等のプロダクトの運用計画は次のとおりです。

① 新設・追加するプロダクト

| データ形式 | データ種類コード：情報名 | 今後の提供計画 |
|-------|--|--------------------|
| XML | VPTWii [ii=60~65]：台風解析・予報情報（5日進路・強度予報） | 平成 30 年度末までに配信開始予定 |
| A/N | FXJPii [ii=61~72]：台風の暴風域に入る確率（5日）（電文） | |
| GRIB2 | 台風の暴風域に入る確率分布（5日）（格子点値） | |
| PNG | 台風の暴風域に入る確率分布（画像） （3日先以降を追加）※ | |

※ 従来の3日先までの画像についても、配色を変更します。

② 内容を変更するプロダクト

| データ形式 | データ種類コード：情報名 | 今後の提供計画 |
|-------|--------------------------------|------------------|
| PNG | WTAS12：5日間台風予報図 | 平成 30 年度末までに変更予定 |
| A/N | WTJPii [ii=21~26]：台風に関する情報（定時） | |

③ 内容を変更せずに配信を継続するプロダクト

| データ形式 | データ種類コード：情報名 | 今後の提供計画 |
|-------|---|---------|
| XML | VPTI50：全般台風情報（総合情報、上陸等情報） | 変更なし |
| XML | VPTI51：全般台風情報（位置、発生情報） 発達する熱帯低気圧に関する情報 | |
| XML | VPTI52：全般台風情報（位置詳細） | |
| A/N | WTJPii [ii=31~36]：台風に関する情報（臨時） | |
| BUFR | IUCC10：気象衛星資料解析気象報 | |

④ 内容を変更せずに配信するが将来廃止するプロダクト

以下の電文等については、経過措置プロダクトとして 2 年間程度、従来形式のまま提供を継続し、平成 32 年度末までに配信を終了する予定です。利用システムの改修・更新等の機会をとらえて、今回提供を開始する情報等の利用への移行をよろしくをお願いします。

| データ形式 | データ種類コード (ファイル名) : 情報名 | 今後の提供計画 |
|-------|--|---|
| XML | VPTWii [ii=40~45] : 台風解析・予報情報 | 平成 32 年度末までに配信終了予定 (経過措置として、2 年間程度、配信継続) |
| XML | VPTWii [ii=50~55] : 台風解析・予報情報 (5 日進路予報) ※1 | |
| A/N | FXJPii [ii=51~56] : 台風の暴風域に入る確率 (電文) | |
| GRIB2 | Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_GPV_Rjp_Jwsp50_FD0000-0300_NTtttnn_gr ib2.bin Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_GPV_Rjp_Jwsp50_FD0000-0300_JRintgrt_NT tttnn_grib2.bin : 台風の暴風域に入る確率分布 (格子点値) ※2 | |
| PNG | WTAS07 : 台風予報図 | |

※1 電文の内容に変更はありませんが、2 (2) の通り配信時刻の変更を行います。

※2 5 日先までの「台風の暴風域に入る確率分布 (画像)」のうち、3 日先までの画像は、これまで配信していた 3 日先までの「台風の暴風域に入る確率分布 (画像)」と共通です。このため、4 日目以降に初めて台風の暴風域に入る確率が 0.5%以上の地域が予報された場合にも、「台風の暴風域に入る確率分布 (画像)」が配信されるようになります。

なお、4 日目以降に初めて台風の暴風域に入る確率が 0.5%以上の地域が予報された場合でも、3 日先までの「台風の暴風域に入る確率 (電文)」(FXJPii [ii=51~56]) 及び「台風の暴風域に入る確率分布 (格子点値)」はこれまでと同様、配信されません。従ってこのとき、3 日先までの「台風の暴風域に入る確率分布 (格子点値)」と「台風の暴風域に入る確率分布 (画像)」のファイル名の通番 (nn) は一致しなくなります。

6. その他

(1) 台風の呼名について

XML 電文中に用いる台風の呼名については、[「気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」](http://xml.kishou.go.jp/) (<http://xml.kishou.go.jp/>) において提供されている「台風解析・予報情報 (延長予報) 電文 (新形式)」の解説資料の別表 1 を参照してくださいの通りです。これは、~~台風解析・予報情報 CREX 電文で用いていた「符号表 B19209 台風の呼名コード」に代わるものです。呼名については技術情報第 463 号でお知らせしている一覧から、変更はありません。~~

北西太平洋で発生した台風一覧のほか、中部太平洋や北東太平洋で発生し北西太平洋に移動してきた台風は、これらの海域で命名された呼名をそのまま引き継ぎますので、これらの海域の呼名の一覧も記載しています。

今回新設する電文の他、既存の電文 (VPTWii [ii=40~45] 等) においてもこの表に

よる呼名を使用します。また、今後、台風の呼名が更新される都度、[「気象庁防災情報 XML フォーマット 更新情報」ページ](http://xml.kishou.go.jp/revise.html) (<http://xml.kishou.go.jp/revise.html>) においてお知らせする予定です。最新の呼名表をご利用いただくよう、ご留意ください。

(2) 台風の存在地域について

XML 電文中に用いる台風の存在地域名については、[「気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」](http://xml.kishou.go.jp/) (<http://xml.kishou.go.jp/>) において提供されている「台風解析・予報情報（延長予報）電文（新形式）」の解説資料の別表 2 を参照してくださいの通りです。これは、これまで台風解析・予報情報 CREX 電文で用いていた「符号表 B19197 台風の存在地域」に代わるものです。

符号表からの変更点として、市町村合併等で使用されなくなった市名、概略地域名のうち使用していないサイパン島とグアム島、複数の都道府県にある同名の市を削除しました。

今回新設する電文の他、既存の電文（VPTWii [ii=40～45]等）においてもこの表による存在地域名を使用します。また、今後、台風の存在地域名に変更がありましたら、その都度 [「気象庁防災情報 XML フォーマット 更新情報」ページ](http://xml.kishou.go.jp/revise.html) (<http://xml.kishou.go.jp/revise.html>) においてお知らせする予定です。最新の存在地域名をご利用いただくよう、ご留意ください。

(修正履歴)

○平成31年4月24日

- ・本文 8 ページの「6. その他」において、XML 電文中に用いる「台風の呼名」及び「台風の存在地域名」の表については、本技術情報の別表 1 及び 2 ではなく「台風解析・予報情報（延長予報）電文（新形式）」の解説資料の別表 1 及び 2 を参照するように記載を変更
- ・別表 1 「台風の呼名」及び別表 2 「台風の存在地域名」を削除

○平成31年1月17日

- ・本文 8 ページの「④内容を変更せずに配信するが将来廃止するプロダクト」の台風の暴風域に入る確率分布（格子点値）で、格子点値が配信されなくても画像が配信される場合がある旨の注釈を追加

○平成30年10月23日

- ・本文 6 ページの「(5) 全般海上警報 (VPZU52、VPZU53) の変更」の (5) を (6) に修正
- ・本文 6 ページに「(5) 台風に関する情報（定時）(WTJPii [ii=21～26])」を追加し、7 ページの表で、WTJPii [ii=21～26] を「内容を変更せずに配信を継続するプロダクト」から「内容を変更するプロダクト」に移動

○平成30年9月18日

- ・今回新設する電文の他、既存の電文においても、別表1の呼名及び別表2の存在地域名を使用することについて明記。
- ・別表2「台風の存在地域名」の福岡県の欄に“那珂川市”を追加（平成30年10月1日以降から使用します。）。

○平成30年8月27日

- ・本文2ページ「(オ) XML電文の運用に関する特記事項」を追加
- ・本文5ページ「(ウ) 画像形式」に配色の変更に関する記述を追加し、変更前後の例を別紙5として追加
- ・本文6ページ「(4) 5日間台風予報図 (WTAS12) の変更」の別紙5を別紙6に修正
- ・別紙1 新XML電文の強度予報要素に関する説明の書き振りを修正
- ・別紙2「台風解析・予報情報の現・新電文の内容」に、XML電文のControl/Titleを追加
- ・別紙4-1「台風の暴風域に入る確率格子点値に用いるGRIB2のフォーマットおよびテンプレートの詳細」の誤りを修正